温室効果ガス排出量 検証報告書

2024 年 6 月 27 日

大和工業株式会社　御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者　丸尾 智雅

1．検証の対象及び目的

大和工業株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象[※1]における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2023 年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2023 年度（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1)スコープ 3 GHG 排出量

事業者の連結子会社であるヤマトスチール株式会社の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 12[※2]において排出される CO_2 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法[※3]に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2．検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3．検証の結論

算定報告書に記載された2023年度のGHG排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO_2e)	
スコープ3※4	**220,255**
スコープ3 内訳	
カテゴリ 1	156,846
カテゴリ 2	8,323
カテゴリ 3	35,261
カテゴリ 4	17,524
カテゴリ 5	1,192
カテゴリ 6	49
カテゴリ 7	168
カテゴリ 12	892

NOTE:

※1：算定対象：ヤマトスチール株式会社の国内拠点（本社・工場、東京支店、大阪支店）

※2：スコープ3の各カテゴリの算定概要：

- カテゴリ1（購入した製品・サービス）：主要原材料・補助原材料等の購入品（製品・サービス）
- カテゴリ2（資本財）：建設、購入した資本財
- カテゴリ3（スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：使用した都市ガス、灯油、電力
- カテゴリ4（上流の輸送、配送）：主要原材料・補助原材料、および製品の調達物流及び出荷物流
- カテゴリ5（事業から出る廃棄物）：算定対象から出る産業廃棄物
- カテゴリ6（出張）：従業員数から換算した相当量
- カテゴリ7（雇用者の通勤）：従業員数・勤務日数から換算した相当量
- カテゴリ12（販売した製品の廃棄）：出荷製品の重量から換算した相当量

※3： 算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（ver.3.4）」、「LCA データベース IDEA Ver2.3 (サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)」、及び、事業者が作成した「GHG排出量算定マニュアル」

※4：スコープ3の値(t-CO_2e)は、各カテゴリにおいて整数とした排出量の合計値

以上